

民主党 北朝鮮拉致実行犯に繋がる団体へ2億円超の献金！ 菅前総理の資金管理団体からも6千万円以上献金！

我が党議員が国会で追及！



7月19日、自民党の古屋圭司衆院議員は衆院予算委員会で、民主党および同党議員らによる北朝鮮拉致実行犯に繋がる団体への2億円超の献金と、菅総理（当時）の資金管理団体「草志会」からの献金問題を厳しく追及しました。

この献金を受けた「政権交代をめざす市民の会」は、「市民の党」（代表 齊藤まさし氏・本名 酒井剛氏）から派生した団体と言われ、二つの団体は極めて深い関係にあります。

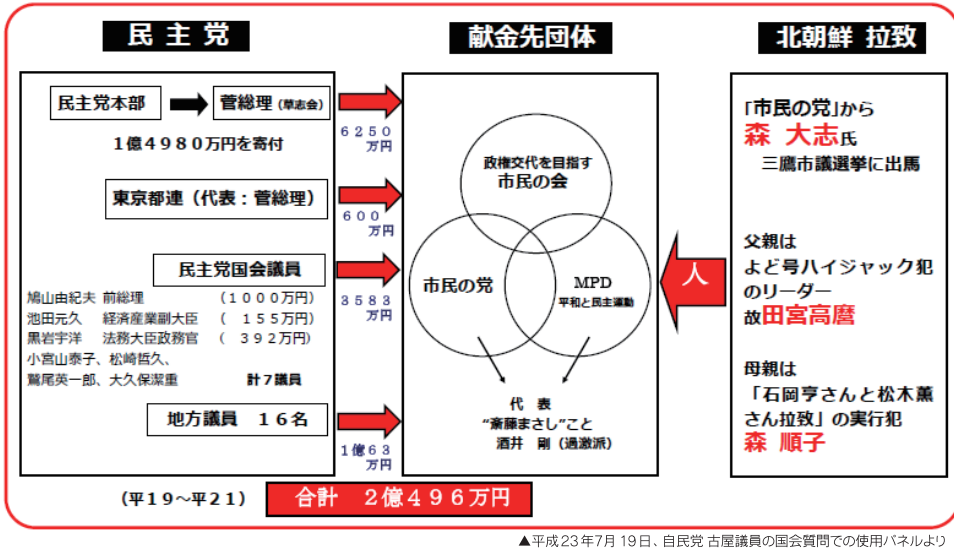
市民の党は、北朝鮮の日本革命村で教育を受けたとされる森大志氏を三鷹市議選に擁立した政治団体です。この森大志氏は、昭和45年の赤軍派日航機よど号ハイジャック事件のリーダー田宮高麿と、北朝鮮による日本人拉致事件の実行犯として国際指名手配中の森順子の長男です。



古屋議員はまた、平成17年の都議選武蔵野市選挙区での民主党と市民の党との不可解な選挙協力にも言及、菅総理当時から市民の党関連団体への献金の流れに疑義を呈しました。

市民の党市議が立候補を辞退し民主党候補支援を表明した共同宣言。菅、齊藤両氏も同様。平成23年7月19日、自民党 古屋議員の国会質問での使用パネルより

菅総理・民主党と献金先団体、北朝鮮 拉致問題の構図



更に、8月11日、自民党の西田昌司参院議員は参院予算委員会で、菅総理（当時）に対し、この市民の党関連団体への献金の流れの中で、菅総理（当時）の資金管理団体に残高がないのに献金した形になっていることを指摘、虚偽記載・政治資金規正法違反ではないかと厳しく追及しました。



菅直人衆議院議員（三鷹市在住）は北朝鮮とつながりのある市民の党と関連団体に何故6000万円もの巨額献金をしたのでしょうか。その原資は民主党本部からのようですが政党交付金（税金）ではないでしょうね。

3月26日、朝鮮総連・許宗萬議長宅を不正輸入の容疑で強制捜査

朝鮮総連は在日本の北朝鮮系の人々をまとめている団体だが、国交の無い北朝鮮の日本における大使館の役割を果たしてきたといわれている。許議長は朝鮮総連の代表格で、本国の最高幹部ともパイプを持つといわれている。去る3月26日、不正輸入の疑いで許議長宅が強制捜査された。

北朝鮮は昨年5月のストックホルム合意をきちんと履行せよ

この数年の、日本の経済的圧力などが功を奏し、金正恩体制になり「改めて調査する」という日朝合意が2014年3月ストックホルムにおいてなされた。再調査を始めることを条件に、国連決議による経済制裁に上乗せした日本独自の制裁を緩和した。しかし第一回答は昨年秋に出る予定だったが、今年4月になっても回答はない。

最近、北朝鮮から拉致を除きたいとの打診があったという。拉致問題最優先の安倍内閣は当然これを拒否した。北朝鮮は日朝のストックホルム合意に基づいて、一日も早く残りの拉致被害者の行方を明らかにすべきである。

安倍政権の北朝鮮に対する基本姿勢は「対話と圧力」

日朝合意を履行しない北朝鮮に対しては圧力を強める措置を政府は3月31日閣議決定した。

- ・北朝鮮への輸出入の全面禁止
- ・北朝鮮籍船舶の日本への入港禁止
- ・北朝鮮への資金の支払報告義務の強化